

2020年度

(令和2年度)

教育委員会の事務の点検及び評価報告書

令和3年11月

舟橋村教育委員会

## 目 次

I	教育委員会の「教育に関する点検及び評価」について	1
1	趣 旨	
2	対 象	
3	方 法	
	(1) 自己点検・評価	
	(2) 学識経験者の知見の活用	
II	点検及び評価	
1	教育委員会の運営状況	
	(1) 組織等	
	(2) 教育長、教育委員、会議等の状況	2
	(3) 成果と課題（総括）	3
2	主要施策事業	4
	(1) 事業一覧	
	(2) 事業別の成果と課題	5
3	学識経験者の意見	18
	(学校教育、生涯学習・社会教育、スポーツ振興の観点から)	

# I 教育委員会の「教育に関する点検及び評価」について

## 1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進と、地域住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行について点検及び評価（以下、「点検・評価」という。）を実施する。

## 2 対 象

令和2年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況

## 3 方 法

### (1) 自己点検・評価

「舟橋村総合計画」を踏まえた「舟橋村教育大綱」及び舟橋村の教育指導方針に基づき、令和2年度の主な教育委員会の事業運営状況、事務事業の執行状況について点検・評価を行う。

### (2) 学識経験者の知見の活用

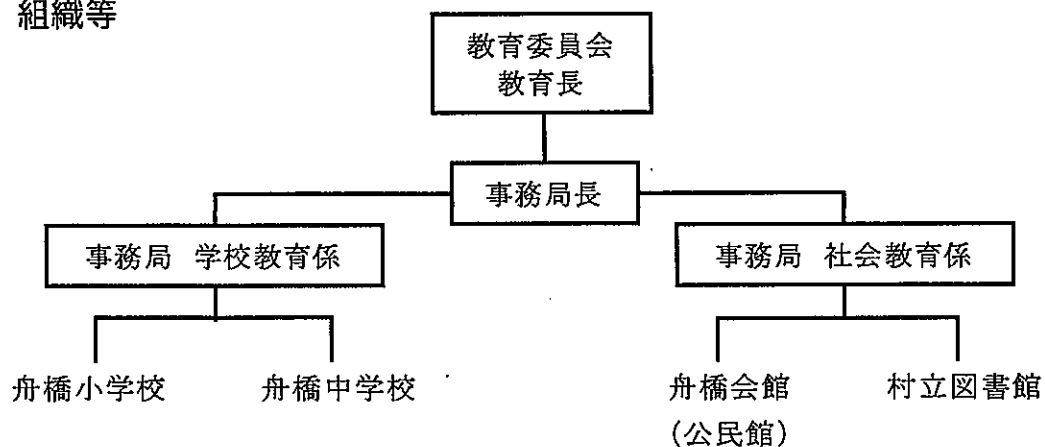
自己点検・評価に対する意見を以下の学識経験者に聴き、本書に記載する。

学識経験者名	宮 田 徹
職業・職歴	富山国際大学 子ども育成学部 教授

# II 点検及び評価

## 1 教育委員会の運営状況

### (1) 組織等



## (2) 教育長・教育委員、会議等の状況

ア 教育長及び教育委員（任期；教育長3年、委員4年）

（令和3年3月15日現在）

職名	氏名	就任期間	備考
教育長	早川 誠一	R1.10.1 ~ R4.9.30	常勤
教育長職務代理者	野村 覚	R1.10.1 ~ R5.9.30	非常勤
教育委員	堀田 早苗	H29.10.1 ~ R3.9.30	非常勤
教育委員	喜渡 浩明	H30.12.29 ~ R4.12.28	非常勤
教育委員	大上 和雄	R3.3.15 ~ R7.3.14	非常勤

（現委員の構成）

- ・年齢；60歳代2名、50歳代1名、40歳代1名
- ・性別；男性3名、女性1名
- ・職業；会社員2名、団体職員1名、無職1名 ※保護者1名を含む。

イ 教育委員会の開催状況（回数；定例会11回）

会議に付された主な案件

- ・教育関係予算について
- ・学校運営及び教育活動について
- ・児童生徒の就学、援助等について
- ・生涯学習・社会教育事業について（公民館、図書館、スポーツ含む）
- ・地域学校協働活動の構築について（ふなはし村民大会含む）
- ・新型コロナウイルス感染症対策について

ウ 主な活動状況

会議・行事名	回数・月日	場所	出席状況
村議会	定例4回 6,9,12,3月 臨時3回 7,10,2月	村議会議場	教育長
村総合教育会議	3回 7/30,1/26,3/30 ※2回目から新村長による開催	村役場	教育長 委員4名
立山区域地域ぐるみ教育研究会	1回 10/10（中止）	立山中央小	
中新川郡地方教育委員会連絡協議会	1回 7月（中止）	舟橋村	
県市町村教育委員会連合会	1回 7/14 （10月は中止）	富山市、氷見市	教育長 委員4名
県市町村教育長会	2回 5/18,2/10 （全中止）	富山市	

東部教育事務所 管内教育長会	2回 11/24, 2/4 (5月は中止)	富山市	教育長
東海北陸地区町村教育長 研究協議会	1回 8/20・21 (中止)	富山県	
全国町村教育長会	1回 5/7, 8 (中止)	東京都	
教科用図書中新川採択 地区協議会	1回 7/17	滑川市	教育長 委員1名

- その他の活動状況（本年度は、教育長のみ出席し定例会で報告した。）  
学校行事訪問（入学式、運動会、学習公開日、学習発表会、卒業式等）

### (3) 成果と課題

- ・教育委員会として、学校教育・社会教育の運営状況を確認してきた。
- ・新型コロナウイルス感染症の予防のため、当初計画した事業を中止や延期、または縮小して実施した。（Ⅱ 2（2）事業別資料参照）

#### <新型コロナウイルス感染症対策>

予防対策として、学校・施設とも基本的予防行動（マスク着用、検温、消毒、換気等）と密集を避けるための場所の使い方を工夫した。

県内では8月と12月に「富山アラート」が発令され、1月にはステージ2となったが、予防対策の徹底により、村民に感染者が発生したものの、学校・施設関係者で感染者はいなかった。

#### <本年度の成果>

- ・国は、コロナ禍における学力保障のために「GIGAスクール構想の実現」に係る補助金と2度の感染症対策臨時交付金を支出したため、児童生徒に1人1台のタブレットPCを購入し、校内の超高速回線工事ができた。また、全ての普通教室で電子黒板やPCを使用できる環境が整った。
- ・総合教育会議において「舟橋村教育大綱」を改定し、その基本方針を「学校教育の充実」「生涯学習・生涯スポーツの推進」「地域学校協働活動の定着」とした。

#### <次年度への課題>

- ・学校教育におけるICT教育を推進するため、効果的な活用の仕方を小中学校で連携して研修を進める。
- ・学校の負担軽減策については、本年度はコロナ禍での状況であるため、方策の効果を十分確認できなかったが、次年度以降も継続して取り組む。
- ・「ふなはし村民大会」（地域ぐるみの青少年健全育成を意識付ける決起大会）を2度延期したが実施できなかったため、次年度に青少年育成舟橋村民会議と協議して、適切な時期を決めて実施する。
- ・上記と関連して、4月に「ふなはしテトラ協働本部」を設置して、学校教育と連動した地域学校協働活動を展開していく。

## 2 主要施策事業

### (1) 事業一覧

主要施策事業名	担当係等
<p><b>【教育大綱 基本方針1】</b>            基礎学力や体力の向上を目指した独自性のある教育の実施、学校施設の整備など学校教育の充実を図り、心身ともに健康でたくましく心豊かな子どもの育成を図る。</p>	
<p>○学校教育、学校施設</p> <p>1-1 小中一貫教育（詳細を研究紀要に記載）</p> <p>1-2 ICT教育</p> <p>1-3 地域と連携した教育活動</p> <p>1-4 体力向上、健康管理</p> <p>1-5 食育</p> <p>1-6 施設・整備</p>	<p>小・中学校            学校教育係            学校教育係            学校・社会教育係            学校教育係            学校教育係</p>
<p><b>【教育大綱 基本方針2】</b>            図書館をはじめとした生涯教育施設の充実や学習機会の創出に努めるとともに、住民の主体的な芸術・文化、スポーツ活動を推進し、社会の要請に応じた様々な活動ができるように環境整備を図る。</p>	
<p style="text-align: center;">（詳細を「生涯学習のあゆみ」に記載）</p> <p>○生涯学習・社会教育</p> <p>2-1 生涯学習・社会教育事業</p> <p>2-2 舟橋会館（公民館）事業</p> <p>2-3 舟橋村立図書館の運営</p> <p>2-4 スポーツ振興</p> <p>2-5 国際交流事業</p> <p>2-6 各種団体育成</p>	<p>社会教育係            //（舟橋会館）            //（図書館）            // //            学校・社会教育係            社会教育係</p>
<p><b>【教育大綱 基本方針3】</b>            次世代を担う子どもたちが健やかに育つ青少年活動の充実とともに、地域社会全体で基本的な社会性や豊かな人間性を育む教育風土の醸成に努める。</p>	
<p>○地域ぐるみの青少年健全育成活動</p>	<p>社会教育係</p>

## (2) 事業別の成果と課題

(1-1)

## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校教育
担当係	学校教育係(小中学校を含む)、社会教育係(村立図書館)

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1	
目標とする指標	小中一貫教育(学力向上を含む)	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
<b>【一貫教育】</b> ・小中合同授業  ・小中教員合同研修 ・一貫カリキュラムの展開 ・学力向上の取組	・小6・中3 総合 コロナのため中止 ・12月;小5・中2「学校保健委員会」 ・コロナのため中止 ・言語活動,道徳科,総合,キャリア教育 ・「ふなはし『学び合い』スタイル」の授業展開	・再開 ・継続実施 ・再開 ・継続実施 ・継続実施
<b>【小学校】</b> ・中1の読み聞かせ	・9月;全学年での実施 (村立図書館での講習後)	・継続実施
<b>【中学校】</b> ・小6部活動体験 ・小6・中1英語交流会	・コロナのため中止 ・1月;入学説明会の日に実施	・再開 ・継続実施

## 2 成果と課題

<b>【成果】</b> ・小中合同授業は、「学校保健委員会」のみ実施できた。同学年がない緊張と配慮・工夫が必要となり、発達段階や習熟度の違いがあるからこそできる姿があった。生徒が児童の発言を受け止め、その後の対話を組み立てていく対話の流れを今後も継続していきたい。 ・学年の実態を考慮しながらふさわしい言語活動を決定し、年間を通じて行うことで、自分の考えをまとめ伝える力が徐々に身に付きつつある。
<b>【課題】</b> ・「主体的・対話的で深い学び」の基盤となる資質・能力である「情報活用能力」を子供たちが身に付けるために、発達の段階に応じたICT機器の効果的な活用を進める必要がある。 ・ICT機器の活用は、情報や意見の提示や配信、集約等で学びの効率化に繋がるが、その学びを支えるのは「話す・聴く・書く・読む」といった基本的な言語活動である。この基本となる4技能をしっかりと身に付け、考える力を向上させるために、段階的言語活動スキル「〇〇上手になろう」と併せて「ふなはし『学び合い』スタイル」を軸とした研修を今後も進めていきたい。

## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校教育
担当係	学校教育係(小中学校を含む)

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1	
目標とする指標	ICT教育	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
<b>【整備状況】</b> ・教室への整備  ・児童生徒への整備  ・教職員への整備  <b>【ICT活用授業の研究】</b> ・小学校  ・中学校  <b>【教員の研修】</b> ・中学校  ・先進校視察	・校内無線 LAN,高速大容量回線の整備(小中) ・大型テレビ(小中各2台) ・電子黒板(小中各2台) ・タブレット端末(小162台,中88台) ※GIGA スクール構想1人1台端末達成 ・タブレット端末(小7台,中15台) ・指導者用デジタル教科書(小中) ・校務用端末更新(中11台) ・校務用サーバー更新(中)  ・1年,2年算数科、4年国語科、5年理科、6年総合的な学習の時間 ・3年数学、全学年(訪問研)  ・8月;校内全体研修会 「ICTを活用した授業構想について」 ・朝日町立朝日中学校へ3名	・不足分の整備       ・継続実施  ・継続実施   ・継続実施  ・必要に応じて派遣

## 2 成果と課題

<b>【成果】</b> ・「ふなはし『学び合い』スタイル」による授業において、ICT機器の有効な活用による課題解決の在り方について、各校の研修から理解を深めた。 ・ICT 機器を活用することで教材の共有を図り、子供たちの思考の広まり・深まりや根拠のある話し合いにつながった。また、自己変容の自覚や自己評価、個への支援につながった。
<b>【課題】</b> ・子供たちが「情報活用能力」を身に付けるために、発達の段階に応じた ICT 機器の効果的な活用を進める必要がある。そのために、活用スキルを習得させる時間を意図的に設定していくことが求められる。



## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校教育
担当係	学校教育係(小中学校を含む)

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1	
目標とする指標	地域と連携した教育活動	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
<b>【総合的な学習の時間】</b> (小学校)「舟っ子タイム」の観点 ・3年生;地域、自然、人 ・4年生;地域、環境、自然 ・5年生;防災、安全 ・6年生;生き方、自然 (中学校) ・1年生; 村立図書館との連携 ・2年生; 地域での職業体験 ・3年生; 社会福祉活動 <b>【その他の活動】</b> ・小学校全学年; 農家との交流 ・中学校全学年; ボランティア体験	・図書館ポスター ・環境保護活動 ・地域安全、防災 ・環境保護活動 ・小学校での読み聞かせ ・職場体験活動「働く人に学ぶ」 ・手作り絵本の提供 ・収穫体験、農業についての話 ・校内での募金活動、ペットボトルキャップ、書き損じハガキの回収	・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・14歳の挑戦再開 ・継続実施 ・継続実施

## 2 成果と課題

<b>【成果】</b> ・村立図書館を教材とし、そこで働く人の思いや願いを知ることで、子供たちが図書館を大切にし、利用したいという願いと態度を育てることができた。 ・細川・京坪川・竹鼻用水・竹鼻リバーサイド公園の環境保護活動を通して、自分なりの思いや願いをもって、自主的に実践しようとする態度が育った。 ・地域の安全や防災について調べたり、施設を見学したりすることで、舟橋村の現状を知り、自分たちに何ができるか考えることができた。 ・地域の施設や自然、農業などの見学や調査・体験活動を通して身近な環境について考えたり、どのような役割を担っているか知ったりすることができた。 ・子供たちは、多様な人々との関わりの中で、相手の立場に立って考えることの大切さに気付くことができた。マナーや言葉遣いについてなど体験の中で学ぶことができた。
<b>【課題】</b> ・新型コロナウイルス感染症の影響がいまだに残り、地域の方々との交流について、今後課題として考えていかななくてはならない。特に年配の方との交流が難しい。 ・舟橋村での独自の活動に加え、県から類似の活動を要請される場合は、授業時数確保の面からも負担にならないように、その都度協議して精選する。 ・外部の方との連絡・調整の負担が大きいので、「ふなはしテトラ協働本部」に移行する。

## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校教育
担当係	学校教育係(小中学校を含む)、社会教育係

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1	
目標とする指標	体力向上、健康管理	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
<b>【小学校】</b> ・体育的行事 (水泳記録会、運動会、縄跳び大会)  ・「みんなでチャレンジ 3015」 ・体力向上推進事業(ダンス教室)  ・「夢の教室」  <b>【中学校】</b> ・運動部活動 (野球、テニス、卓球、バスケットボール)  <b>【共通】</b> ・立腰(姿勢)による健康づくり	・運動会、縄跳び大会実施 ・水泳記録会中止  ・達成率 <u>86%</u> ・講師を招聘して実施 (全学年対象) ・コロナのため中止	・継続実施  ・ <u>80%以上</u> ・継続実施  ・継続維持
	・所属 85名/116名 ・新川地区大会が中止となり、代替大会を実施	・継続実施
		・継続実施

## 2 成果と課題

<b>【成果】</b> ・小学全学年を対象に、外部指導者を招聘してダンス教室を開いた。コロナ禍の中で家庭での運動機会の創出、ダンスの技能向上とともに体力づくりを図った。運動会では、全学年でダンスを披露した。 ・平成27年度から中学校で開始した「立腰」教育を、幼小中の連携事業に拡大して取り組んだ。「立腰」教育は、内臓の働きを活性化するとともに、学習中の集中力を高める効果があると言われる。
<b>【課題】</b> ・児童生徒の体力向上に向け、教育委員会として外部講師を招聘した事業を開催した。今後も各校のニーズ把握を行い、必要に応じて運動教室や出前授業等開催していく。

## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校教育
担当係	学校教育係(小中学校を含む)

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1	
目標とする指標	食育	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
<b>【小学校】</b> ・農業体験学習  ・生産者との会食  <b>【中学校】</b>  <b>【共通】</b> ・日常の給食指導 ・学校給食週間	・枝豆収穫体験(給食委員会) ・ネギの収穫体験(3年生) ・ぶどうの収穫体験(3年生) ・有機米生産者との会食(4年生)  ・郷土料理・地場産野菜のポスター作り  ・立腰の呼びかけ ・村内産野菜の給食 「学校給食ふなはしの日」 ・食文化への理解と感謝 ・食生活の改善	・継続実施    ・継続実施  ・継続実施 ・継続実施  ・継続実施 ・継続実施

## 2 成果と課題

<b>【成果】</b> ・「学校給食ふなはしの日」の生産者との会食では、生産者の方に直接質問することで、地産地消の理解を深め、農業や給食への関心が高まったようである。 ・ネギなどを実際に収穫することで、収穫の楽しさや出荷作業の大変さなど生産者の方の苦労に気付くことができ、感謝して食べようという思いをもつことができた。 ・村内生産者等から提供されたお米の展示紹介、献立に用いられた舟橋村産の野菜の特徴や栄養素について知らせるポスターや郷土料理の献立を通して、生産者とのつながりや有機栽培等の生産方法への関心を高めることができた。 ・学校給食週間に「家でおすすめのランチ」を紹介したことで、家での食事の栄養バランスを見直すことができた。委員会活動で各ランチのポイントを紹介する掲示を作り、より興味関心を高めた。
<b>【課題】</b> ・ネギの収穫体験では、植え付けや機械で皮をはぐ作業を見学できるとよい。コロナ禍以降に実現したい。 ・収穫体験は内容、時期を決め、計画的に実施できるとよい。 ・指導してくださる方の確保が年々難しいので、「ふなはしテトラ協働本部」を活用していく。 ・食事の際の立腰の指導を徹底して、マナーや食への感謝の意識を高めたい。

## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校施設
担当係	学校教育係

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1	
目標とする指標	施設・設備	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【小学校】 ・工事  ・修繕  ・設備	・なし  ・エアコン設備修繕、網戸取付修繕(コロナ対応) 他12件 ・空気清浄機、給食分散用テーブル・いす(コロナ対応) 他11件	・放送設備更新工事  ・予算内で随時実施  ・予算内で実施
【中学校】 ・工事  ・修繕  ・設備	・太陽光発電設備改修工事,シーリングファン設置工事 計2件 ・網戸取付修繕(コロナ対応)、給食室設備修繕 他21件 ・気化式冷風扇、給食分散用トレイ(コロナ対応) 他8件	・体育館渡り廊下屋根改修工事 他3件 ・予算内で随時実施  ・予算内で実施

## 2 成果と課題

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の安全を第一とし、校舎の修繕をはじめ、時代に即した教育環境の整備を図るとともに、児童生徒が楽しく、安心して学校生活を送れるよう施設設備の安全管理に努めた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の対応として、国補助金を活用し、網戸取付修繕や必要な備品(空気清浄機、気化式冷風扇等)の購入を行った。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度予算として、小学校の放送設備更新工事と中学校の体育館渡り廊下屋根改修工事や修繕費等を計上しているが、社会状況の変化や経年劣化により、修繕箇所が増加すると思われる。限られた予算の中で、優先順位を決めて実施していかなければならない。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育
担当係	社会教育係

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針2	
目標とする指標	生涯学習・社会教育事業	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
<b>【家庭教育】</b> 親を学び伝えるプログラム (小中学校、子育て支援センター で講座開設)	・11/12(小学校) 舟橋会館にて実施 ・11/11~13(中学校) アンケート実施 ・11/27・12/11実施	・継続実施 ・継続実施 ・継続実施
<b>【青少年教育】</b> ・放課後子ども教室 ・ふなはし村民大会 ・はつらつ公民館学び支援事業 ・成人式	・(月) 24回実施 児童 38名登録 ・11/3→2/28→中止 ・1/31立山自然の家、参加21名 ・3/21参加46名(対象者49名)	・継続実施 ・延期開催 ・継続実施 ・継続実施
<b>【その他】</b> ・国際交流推進事業 (2-5に詳細を記載) ・村史普及推進事業	・交流事業 第1回 9名 第2回 5名 ・地域探訪 1回 参加 9名	・継続実施 ・継続実施

## 2 成果と課題

<b>【成果】</b> ・「親を学び伝えるプログラム」では、コロナ禍でありながらも、それぞれ工夫した方法で開催することができ、テーマも各年代に合った充実した内容となった。 ・放課後子ども教室は、コロナ禍の影響で一ヶ月遅れでのスタートとなったが、予定していたプログラムは全て行うことができ、内容も有意義なものとなった。 ・「ふなはし村民大会」は、多数の人が集まるため中止となったが、村の関係者を集めて事前説明会を開催する事ができ周知を行った。
<b>【課題】</b> 次年度もコロナ禍での生活が予想される中で予防対策を講じながら、新たな社会教育事業の実践や方法を提案し、開催すべく方向で進めていけるようにしていく。

## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育
担当係	社会教育係(舟橋会館)

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針2	
目標とする指標	舟橋会館(公民館)事業	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
<b>【成人教育】</b> ・公民館講座  ・公民館教養講座  ・村の小さな音楽会  ・公民館自主事業  ・村民大学「みどり学園」	・各種教室 8/2 竹とんぼ教室(9名、うち子供5名) 12/27 フラワーアレンジメント教室 (11名)  3/8 キャッシュレス決済の仕組みと上手な利 用法 (21名)  2/28 出演8組(31名) (44名)  2/14 バレンタイン落語会 桂花團治、ぴろき (約90名) ・コロナのため中止	・継続実施 (回数・内容検討)  ・継続実施  ・継続実施  ・継続実施 (回数・内容検討) ・継続実施
<b>【行事開催】</b> ・第40回文化祭	・コロナのため中止 (令和3年度に第40回を予定)	・継続実施 (内容検討)

## 2 成果と課題

<b>【成果】</b> ・公民館講座では、竹とんぼ教室やフラワーアレンジメント教室を実施した。いずれも短時間で見栄えのする作品が出来上がり、参加者にはとても好評だった。 ・「村の小さな音楽会」は、気軽に音楽を楽しめる会として住民にも定着し、毎年楽しみにしているという声が多い。 ・自主事業の落語会は2月に延期したが、制限した分の来場者があった。文化・芸術に触れる機会を身近に設けることで住民の豊かな情操の涵養につながっている。 ・各種教室や事業では、感染対策(検温、手指消毒、前売り券、参加者の把握、人数の制限、アクリル板の設置等)を講じながら開催することができた。
<b>【課題】</b> ・本年度は講座や行事が制限されたが、次年度は状況を判断しながら各種事業への参加者を増やし、幅広い年代層を取り込むことが重要である。そのため、住民の要望を捉えながら魅力ある内容を工夫するとともに、会館だよりやチラシ、ポスター、会館内のデジタルサイネージ上映等により、周知・広報に努めていく必要がある。

## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育
担当係	社会教育係（舟橋村立図書館）

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針2	
目標とする指標	舟橋村立図書館の運営	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
<b>【基本データ】(R3.2末現在)</b> ・蔵書冊数 ・登録者数 ・貸出冊数 <b>【自主事業】</b> ・各種おはなし会 ・コンサート ・講演会 ・上映会 ・学級招待 <b>【学校、各種団体連携事業】</b> ・出前おはなし会 ・「14歳の挑戦」受け入れ ・クラス訪問 <b>【ボランティア活動事業】</b> ・イソップの会おはなし会 <b>【村民活動支援事業】</b> ・各種展示会 （美術会展・ガラス展・盆栽展・香悦会展）	・94,951冊（雑誌・AV資料を除く） ・11,329名（村内1,889名） ・66,378冊  ・9回（90名） ・中止 ・中止 ・中止 ・1回（30名）  ・高齢者サロンへ 2回（20名） ・中止 ・25回（619名）  ・4回（27名）  ・中止	・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施  ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施  ・継続実施

## 2 成果と課題

<b>【成果】</b> ・コロナ感染症のため、事業の中止を余儀なくされたが、いかにして図書館本来の機能を果たすべきか状況を見極めながら職員皆で常に考え話し合えたことは、今後の運営に大きな力になるものと思う。 ・学校の先生方の協力によりクラス単位での団体貸出が増え、子供たちの読書活動を支援することができた。
<b>【課題】</b> ・コロナ感染症対策のため、今年の課題であった「高齢者サービス」で成果をあげることができなかった。引き続き、高齢者の利用促進策が課題である。

## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育
担当係	社会教育係

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針2	
目標とする指標	スポーツ振興	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
<b>【村民運動会】</b> (実行委員会委託) <b>【体育協会】</b> ・秋の祭典 ・ソフトボール大会 ・ビーチボール大会 ・卓球大会  <b>【舟橋文化スポーツクラブ】</b> ・定期開催講座 (幼児から一般成人対象)  ・集中講座(小学生対象)  ・行事、大会の開催	・中止  ・10/11 村内オリエンテーリング 70名 ・中止 ・中止 ・中止  ・キッズスポーツ教室 幼児 27名 ・バドミントン 21名 ・フラダンス 9名 ・ヨーガセラピー 18名 ・トランポフィットネス 14名 ・産後のママのダイエット 12名 ・ジュニアテニス 3名 ・跳び箱、鉄棒教室各7名 ・8/9 立山登山 57名 ・12/12 キンボールスポーツ大会 30名 ・3/7 ユニカール→中止	・継続実施  ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施  ・継続実施  ・継続実施  ・継続実施

## 2 成果と課題

<b>【成果】</b> ・住民運動会はコロナ禍により中止となり、また体育協会事業のほとんどは中止となった。 ・舟橋文化スポーツクラブ事業等では、時期や開催方法等を考慮し感染防止対策を講じながら開催可能な事業は実施することができた。コロナ禍で自粛続きの今年度であったが無事開催できた際には、とても喜ばれたことが参加者の様子から伺えた。 ・参加者についても例年並みもしくは増加傾向であり、コロナ禍でのニーズを実感することができた。
<b>【課題】</b> ・生涯スポーツ振興の役割は大きく、コロナ禍での実施方法や内容等を検討したり、行事や教室等の周知方法を工夫したりして、各種団体がより一層連携できるように工夫する。



## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育(一部、学校教育を含む)
担当係	社会教育係、学校教育係(小中学校を含む)

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針2	
目標とする指標	国際交流事業(再掲)	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
※ALT講師派遣委託事業 <b>【学校教育活動】</b> ・小学校での外国語授業支援 (月・火・金曜日) ・中学校での外国語授業支援 (水・木曜日) <b>【社会教育活動】</b> ・教室開催 (村立図書館) ・国際交流推進事業	・3・4年生の授業(年 35 時間) ・5・6年生の授業(年 70 時間) ・クラブ活動(年 9 時間) ・1～3年生の授業(年 140 時間) ・特別支援級の授業(年 105 時間) ・英語で楽しむおはなし会 ※コロナ感染症予防対策のため中止 ・10/10 いろんな国をまるかじり① ～インド・イタリア編～ 9名 ・3/13 いろんな国をまるかじり② ～フィリピン編～ 5名	・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施

## 2 成果と課題

<b>【成果】</b> ・国際交流事業は、年度の後半に予定していた2回を開催することができた。 参加人数は、どちらも少なかったが、事業後のアンケートからも参加者の満足度が伺えた。 また、リピーターとなり事業の充実度も実感することができた。
<b>【課題】</b> ・充実した内容であるが、参加者が少ないので、事後の広報や募集時の PR など工夫していきたい。また、時期や内容、日程や対象者等を見直して、参加者の幅を広げていきたい。

## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育
担当係	社会教育係

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針2	
目標とする指標	各種団体育成	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
<b>【社会教育関係】</b> ・社会教育委員会（委員9名） ・文化講演会役員会（役員2名）  ・青少年育成舟橋村民会議総会（委員24名）  ・青少年育成舟橋村民会議役員会（役員3名） ・村立図書館協議会（委員7名）  <b>【スポーツ振興関係】</b> ・常願寺川スポーツフェスティバル ・体育協会（役員50名）  ・文化スポーツクラブ「バンドリー」運営委員会（役員10名） ・スポーツ推進委員協議会（委員10名）  ・住民運動会実行委員会（委員12名） （住民運動会協議会：28名）	・2回開催（第1回は書面開催） ・文化講演会運営の協議（8/26開催） ・社会教育全般の協議（6/25） ・村内パトロールの実施（8/8） ・駅前啓発活動（11/4） ・村民大会運営の協議  ・総会、主催、共催事業の協議 ・2回開催 図書館運営の協議  ・11/8 約77名（園児・児童） ・1回開催 （主催大会運営の協議） ・3回開催 運営、イベントの協議 ・3回開催（県、中新川郡等研修会の運営・協力・参加、バンドリーの企画・運営） ・2回開催 実行委員会1回（決定機関） 協議会1回（競技等検討） 住民自治会への説明会[中止] 当日競技役員打合せ会[中止] （運動会運営の協議）	・継続開設 ・継続開設  ・継続開設  ・継続支援  ・継続支援  ・継続支援 ・継続開設  ・継続実施  ・継続実施

## 2 成果と課題

## 【成果】

・社会教育、スポーツ振興関係では、年度始めに毎年行われている総会等は、紙面での開催とした。また、恒例となっている各種事業も展開をすることが難しかった。後半は村の動向等を考慮しながら、コロナ感染防止対策を講じ実施できたものもあった。

## 【課題】

・コロナ禍の状況が次年度も続くと予想される中で、文化、スポーツの流れを止めないように、創意工夫し実施していきたい。

## 令和2年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育
担当係	社会教育係

## 1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針3	
目標とする指標	地域ぐるみの青少年健全育成活動	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
<b>【青少年育成舟橋村民会議の支援】</b> ・夏の青少年を守る運動  ・啓発活動 （子ども・若者支援強化月間中）  ・ふなはし村民大会→中止	・8/8 村内巡回パトロール （夏休みの始まりの週末に実施）  ・11/4啓発チラシ・ティッシュを 舟橋駅前配布  ・2/28 地域ぐるみで子供たちの 健全育成を推進する決起大会 （次年度に延期）	・継続実施  ・継続実施  ・延期開催

## 2 成果と課題

<b>【成果】</b> ・村内パトロールや啓発活動等は、コロナ感染症予防対策を施しながら、実施することができた。 ・「ふなはし村民大会」については、コロナ感染症防止の観点から、中止となり、次年度に延期となったが、地域ぐるみでの子供たちの健全育成について深く考えることができた一年となった。子供に関わる各種団体、個人にも11月にお集まりいただき、本大会の趣旨を説明することができた。
<b>【課題】</b> ・今年度開催を予定していた、「ふなはし村民大会」を実施するため、開催時期や開催の内容等を見直し、大会参加者や住民、小、中学校や子供たちに理解と協力が得られるように進めていき、開催を成功させる。

### 3 学識経験者の意見

#### 舟橋村教育委員会 自己点検・評価に対する意見

令和3年11月12日  
宮田 徹(富山国際大学)

#### 1 教育委員会の運営状況について

教育委員会の組織、開催状況、主な活動状況について、適切に運営されていると思います。教育委員の構成について、年齢・性別のバランスがとれており、また職業も保護者の方を含む会社員、団体職員という幅広く社会の意見を取り入れようとされている点は、地域ぐるみで子どもたちを育てる舟橋村教育の理念の表れとして非常に意義深いと考えます。

令和2年度は特に、「GIGAスクール構想の実現」に向けての環境整備と「舟橋村教育大綱」の改定に取り組まれたことが大きな成果として評価されます。また、前年度から引き続いての新型コロナウイルス感染症の影響で、当初計画された事業の中止や延期、縮小を余儀なくされましたが、予防対策の徹底に努力されたことが分かります。感染症対策に係る協議経過や対応内容について、丁寧な情報共有がされていることも評価されます。

#### 2 主要施策事業の執行状況について

##### (1) 学校教育

###### ・小中一貫教育について

村に一つの小学校・中学校が近接しているという環境を活かし、教育課程をつなぎ、異年齢合同学習など学び合いによるコミュニケーション・スキルや協働性など求められる資質・能力の育成に取り組まれていることは大変意義深いと考えます。今後は、就学前幼児教育との接続や義務教育終了後の状況把握(進学・進路や居住地等)・成果の可視化、それに基づく点検・改善等が課題として考えられます。

###### ・ICT教育について

1人1台のタブレットPC購入、校内超高速回線工事、全教室で電子黒板・PCが使用できる環境など、ICT環境整備に積極的に取り組まれた点が評価されます。今後も、効果的な活用に向けて小中連携研修などの推進を期待します。ICT機器活用による学びを支えるのは、やはり、「話す・聴く・書く・読む」といった基本的な言語活動であり、そうした力の向上のために、「ふなはし『学び合い』スタイル」を軸とした研修を進めていくという方向性はとても適切だと考えます。ぜひ、ICT活用による「個別最適な学び」と社会性・協働性を育む「学び合い育ち合うコミュニティづくり」の両立を目指していただきたいと思います。

##### (2) 生涯学習・社会教育

村立図書館、舟橋会館など、特色ある社会資源を活用した生涯学習・社会教育の取り組みはこれまで大きな成果をあげてきたと思います。コロナ禍でなかなか先が見通せない状況ではありましたが、地域ぐるみの青少年健全育成活動について、村全体で取り組もうとされていることは大変意義深いと思います。

#### おわりに

新しい学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域と学校の連携・協働の推進が重要とされています。舟橋村では、新たな教育大綱で、「地域学校協働活動の定着」を基本方針に掲げられていますが、大変有意義なことと考えます。

教育や子育て・子育て支援など「人の育ち」に関わる取り組みには、多様な分野の協働、とりわけ、教育と福祉の連携・協力が肝要です。舟橋村では、引き続き「教育村」としての環境の充実を推進されるとのことですが、特別な配慮を必要とする家庭(生活困窮家庭等)への対応など、担当部局や関係機関と連携した多様性・包摂性をもったコミュニティづくりの視点が大切と考えます。